

令和5年度 千葉大学
学生向けスタートアップ支援事業
presented by 千葉大スタートアップ・ラボ

①ビジネスコンペ参加部門

アイデアがある人はこちら。

他の地域のビジネスコンペへの参加活動資金を助成します。

②アントレプレナーシップ醸成部門

アイデアがないけど体験してみたい人はこちら。

他大学・他エリアの学生アントレプレナーとの交流の場を提供します。

① ビジネスコンペ参加部門



M-BIP(Matching HUB
Business Idea & Plan
Competition)@**金沢**へトライし
てもらいます

2022年度スケジュール（参考）

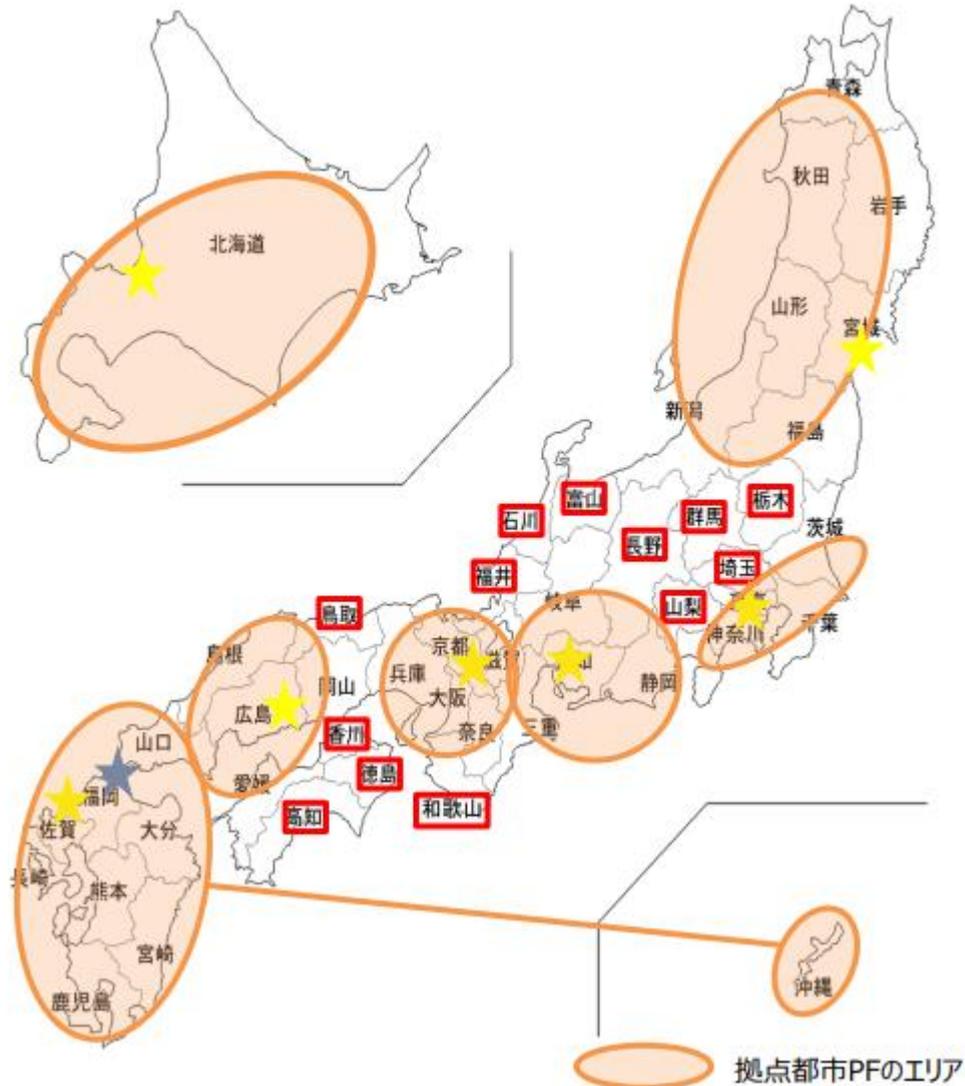


千葉大IMOが提供するアクセラレーションプログラムに参加できます
予選で落ちた場合でも次回につなげるため研修参加@金沢します

旅費・宿泊費、アクセラレーションプログラム
活動費を補助します

全国大会後、千葉大学内にてDemo Day
(成果発表会) にて成果発表いただきます

②アントレプレナーシップ醸成部門



文科省・PF所属
の大学と連携した
プログラムを用意

Aコース@北海道

地域課題解決型ビジネスプラン作成トレーニングへ参加



(予定/学生決定後調整)

- 8月 Web座学
- 8月 事前学習会
- 9月4日～9日
(5泊6日)
- ～12月Web座学
- 2～3月対面発表会
(1泊2日)

連携先

小樽商科大学 グローカル戦略推進センター
(CGS) 産学官連携推進部門副部門長
北川 泰治郎 教授 他

Bコース@九州・沖縄

学生アクセラレーションプログラム体験/ヒアリング調査



(予定/学生決定後調整)

- 8月 Web座学
- 9月～10月 事前学習会
- 10～12月現地
(2泊3日)

九州工業大学の他、
OIST、琉球大学も予定

連携先

九州工業大学 先端研究・社会連携本部
産学イノベーションセンター
上條 由紀子 特任教授 他

Cコース@東京 (GTIE)

学生アクセラレーションプログラム体験/ヒアリング調査



(予定/学生決定後調整)

- 8月 Web座学
- 9月～10月 事前学習会
- 10～12月現地
日帰り通算 10日程度

連携先

東京工業大学 研究・産学連携本部
イノベーションデザイン機構
真尾 淑子 特任教授 他

Dコース@東北

学生アクセラレーションプログラム体験/ヒアリング調査



(予定/学生決定後調整)

- 8月 WEB座学
- 9月~10月 事前学習会
- 10月~12月現地（1泊2日）
- 東北大、仙台市スタートアップ^o支援組織等予定

連携先

東北大学スタートアップ事業化センター
企画推進部長
石倉 慎也 特任教授 他

Eコース@山陰

学生アクセラレーションプログラム体験/ヒアリング調査



(予定/学生決定後調整)

- 8月 WEB座学
- 9月~10月 事前学習会
- 10月~12月現地 (1泊2日)

学外/地域見学も予定

連携先

島根大学オープンイノベーション推進本部
辻本 和敬 特任准教授 他

旅費・宿泊費・活動費を補助します

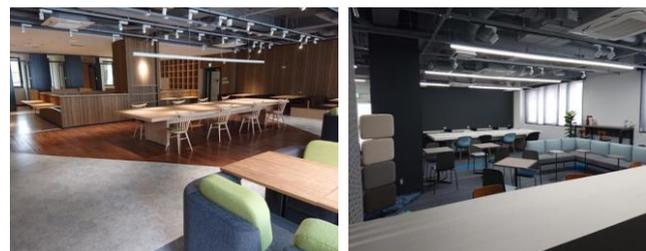
全国大会後、千葉大学内にてDemo Day
(成果発表会) にて成果発表いただきます

千葉大学IMOについて

- 千葉大学学術研究・イノベーション推進機構（IMO：Innovation Management Organization）は、4つの**千葉大学ビジョン**の一つ“社会に大きく貢献する千葉大学”をイノベーションを通じて実現するため、本学の**研究力強化とイノベーション創出の拠点**として設置

世界に冠たる千葉大学へ

-Towards a world preeminent academic institution-



研究

IMOは千葉大学ビジョンを実現するエンジン

社会実装

学術研究・イノベーション推進機構（IMO）

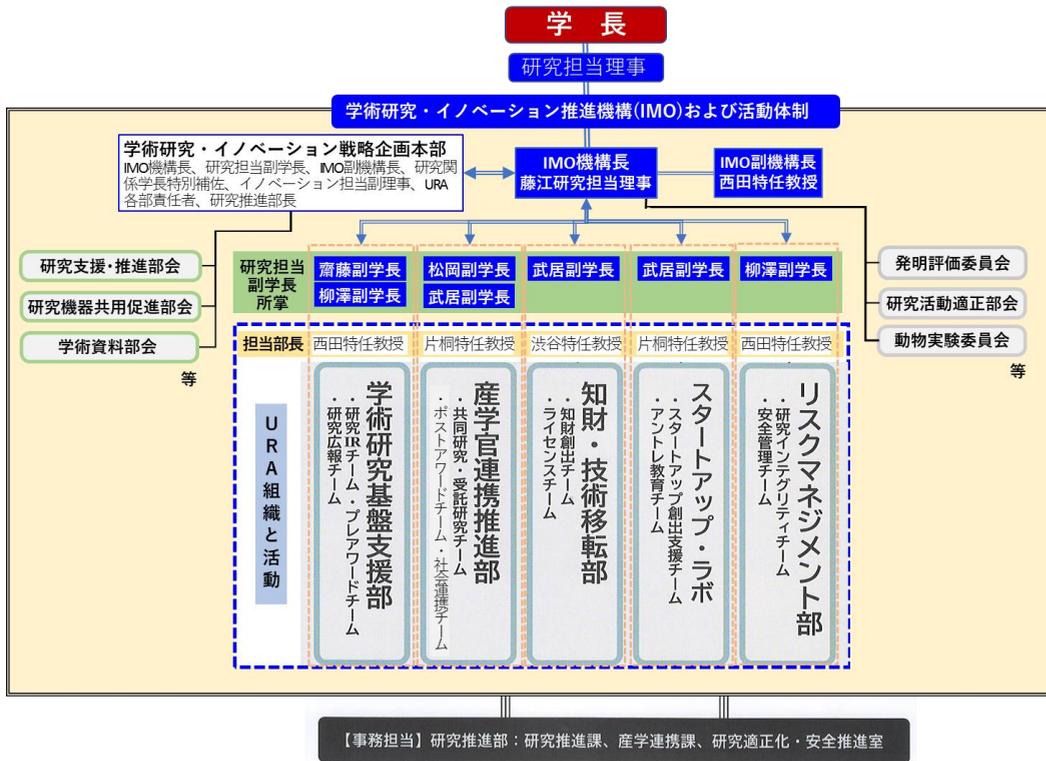
2020年に旧研究IRセクションと旧産学連携セクションを発展的に統合、改組してIMOが誕生。

西千葉キャンパス 南門から附属幼稚園沿い突き当り
フリースペースもございますので、是非お立ち寄りください

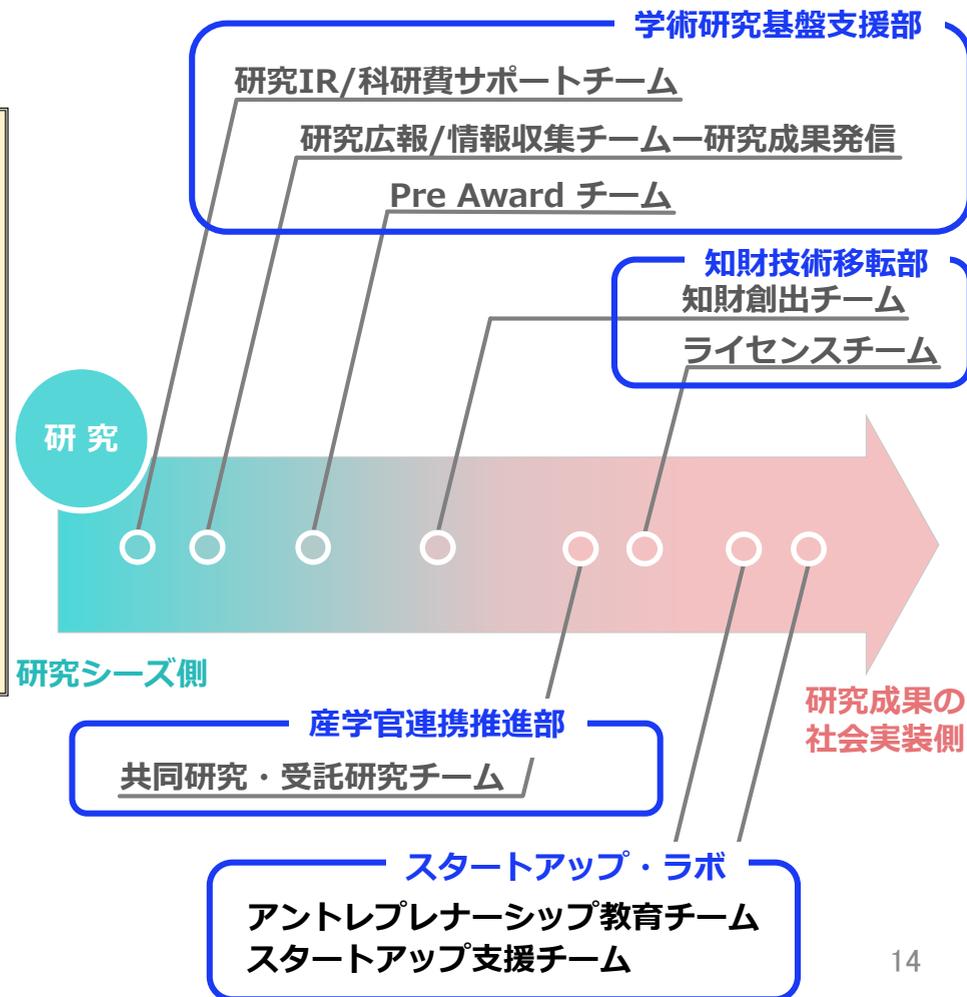
IMOの組織体制

- 千葉大学IMOは部局横断的に**イノベーション創出のための機能**を有する組織体制で運営

組織図



必要な機能をチームとして編成



Topic④ スタートアップ創出支援の状況

- 2022年10月までの数字であるものの**12社増の11位(国立大学では6位)まで躍進** (昨年は4社増の25位)

大学発スタートアップの増加数			
順位	大学	増加数 (増加率)	合計社数
1	慶応義塾	61社(35%)	236社
2	東京	42(13)	371
3	筑波	39(22)	217
4	早稲田	28(28)	128
5	京都	25(10)	267
5	東京理科	25(20)	151
7	立命館	23(26)	110
8	東北	22(14)	179
8	名古屋	22(19)	137
10	近畿	19(61)	50
11	千葉	12(38)	44
12	大阪	11(6)	191
12	東京工業	11(10)	119
14	岐阜	9(16)	66
15	神戸	7(17)	49
16	北海道	6(11)	63
16	静岡	6(16)	43
16	横浜国立	6(24)	31
19	デジタルハリウッド	5(5)	104
19	広島	5(8)	66

(注) 増加は2021年10月以前の設立を新たに把握した分を含む

(出所) 経済産業省

大学発スタートアップ、最多の年477社増 首位は慶応
日本経済新聞 (2023年5月16日)

- ✓ 千葉大学は2022年度様々なスタートアップ支援策を打ち出し強化 (Appendix参照)
- ✓ 昨年25位から11位への躍進
 - 2022年度最終の数字は**18社増 (合計50社)**で着地。
- ✓ GTIEと連携しながら取組を加速させ、基金獲得をてこにスタートアップ・ラボを中心とした活動の加速を行う予定

(ご参考) 千葉大学のスタートアップ支援を拡充 -2022年度-

千葉大起業サークルCSC × IMO

スタートアップカフェ#2
ベンチャーキャピタリストと起業について気楽に語ろう!

スタートアップカフェは、ゲストの起業家やVCとドリンク片手に気楽に語ろう! というコンセプトのトークセッションです。

モデレータ
片桐 大輔 氏
千葉大IMO 特任教授

ゲスト
木村 亮介 氏
ライフタイムベンチャーズ General Partner

IMMO INNOVATION MANAGEMENT ORGANIZATION CSC CHIBA STARTUP COMMUNITY

2022.6.30 Thu 18:30~ @IMO 1F イノベーションスペース

スタートアップカフェ

https://www.chibabank.co.jp/data_service/file/news202200906_01_001.pdf

千葉・横浜パートナーシップ
CHIBA YOKOHAMA PARTNERSHIP

ハイブリッド開催
(リアル会場・オンライン参加)

千葉大学・横浜国立大学発ベンチャー
イノベーションピッチ

~千葉・横浜から起こす新事業の波!~

2022
10/19(水)
14:00 ~ 16:20

参加費 無料

「千葉横浜パートナーシップ」
千葉大学・横浜国立大学発ベンチャー
イノベーションピッチ

社会
実装

4つの アントレプレナーシップ 講義

スタートアップ概論 A / B

「なぜ、今、大学発スタートアップが必要か」といった動機付けから始まり、会社という仕組みを知った上で、無理なく全体像を理解できる構成になっています。

スタートアップトレーニング I

スタートアップ立ち上げに係る基礎知識を習得し、事業計画や資金計画の作成等を通じて、「起業」の模擬体験します。日英併用。

スタートアップトレーニング II

チーム単位で事業計画を検討、作成、発表することを行います。

なのはなコンペ (学内ギャップファンドプログラム)

CHIBA UNIVERSITY 学術研究・イノベーション推進機構
千葉大学独自の
GAP ファンド
プログラム

募集期間
4/28・5/26

ワークショップ
6/8(水)・6/29(水)・7/12(水)・7/28(水)

最終ピッチコンテスト
2022年8月下旬(予定)

募集ページはこちら
<https://imo.chiba-u.jp/venture/nanohana/index.html>

第20回
なのはなコンペ
大学発ベンチャー起業支援プログラム

<https://imo.chiba-u.jp/venture/competition/nanohana.html>

千葉市C-CAP (自治体アクセラレーションプログラム)



<https://www.city.chiba.jp/keizainosei/keizai/sangyo/c-cap.html>

(ご参考) 新しいことにチャレンジする学生を支援

- スタートアップカフェを定期開催



IMOが「本物の起業家」に触れ合う機会を創出
千葉大起業サークルCSC (CHIBA STARTUP COMMUNITY) と共催

注意事項

- 令和5年度現在、本学に在籍する学部生、大学院生で、**学生教育研究災害傷害保険や付帯賠償責任保険等**の加入が済んでいる者
- 公募期間：6月9日～7月7日（17：00）
- 審査期間：7月10日～7月14日
- 採択日：7月21日（予定）

- チームで申請する場合は、1チームに対する助成対象者の上限は3名までとします

- 本事業のコンペや各コース、説明会等に参加し、授業等を欠席しても**公欠の対象となりません**ので
予めご了承ください
- 15万円/人を上限に助成します
- 活動費執行の際、採択者は学術研究・イノベーション推進機構（IMO）スタートアップ・ラボ事務局へ申請を行い、活動の承認を経てIMOがそれぞれの支払先に支払うこととします。

学生の皆さんの“一歩”をお待ちしております